

壁紙別 塗装仕上げ壁紙

(裏打ち有り)



18kg 入り

特長

- 先に壁面に貼り、乾燥後に上から塗料を塗って仕上げる壁紙。 ⇒ ・表面を塗料で仕上げるため、施工時の糊の選定が重要。
- ガラス繊維で織ったものがほとんど。他に紙に凹凸(木チップ)を付けたものなど。

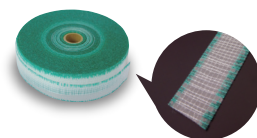
糊付け ・養生

- 糊は**ウォールボンド200**。
- **重ね切り**の場合、必ず**下敷きテープ**を使用。
- 糊付け後は**大きくたたみ**、あまり**重ねない**。必ず**クロスボックス**に入れ養生。

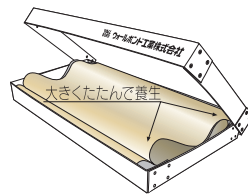


- ・容量：18kg 入り
- ・標準希釈：原液使用
- ・施工可能面積：約 80~120㎡

・合成樹脂エマルション量の多いウォールボンド 200 を選定。
(壁紙の接着自体はウォールボンド 100 で十分だが、後から塗装した時に、塗料の水分に対して十分な接着性が必要。)



・ボードを切ってしまうと、仕上げの塗料が乾くにつれて目開きが起きる。



- ・折りジワが付くと取れない。
- ・クロスパックでも良いが、折りジワが付きやすいので注意。
- ・合成樹脂エマルション量が多い糊なので、糊付け後の相ハギに注意。
- ・十分な養生が出来ない。

貼り付け

- 撫で残しのないようにする。
- **塗装**は、糊が完全に**乾燥**してから仕上げるようにする。
- ジョイントには、必ず**くいさきテープ**。



・撫で残しがあると、後に「後膨れ」のようにエアーが目立つことがあるため。

・糊が乾く前に塗装すると剥がれてしまう。

- ・ジョイントは目スキが出やすい。
- ・素材は和紙とし、糊付きテープは避ける。
- ・くいさき状のテープでないで段差になる。
- ・突き付けの場合、幅広(70mm)を先に貼っておくとジョイントが楽に合わせられる。

施工後

- 急激な乾燥は避ける。
- ・目スキの原因。